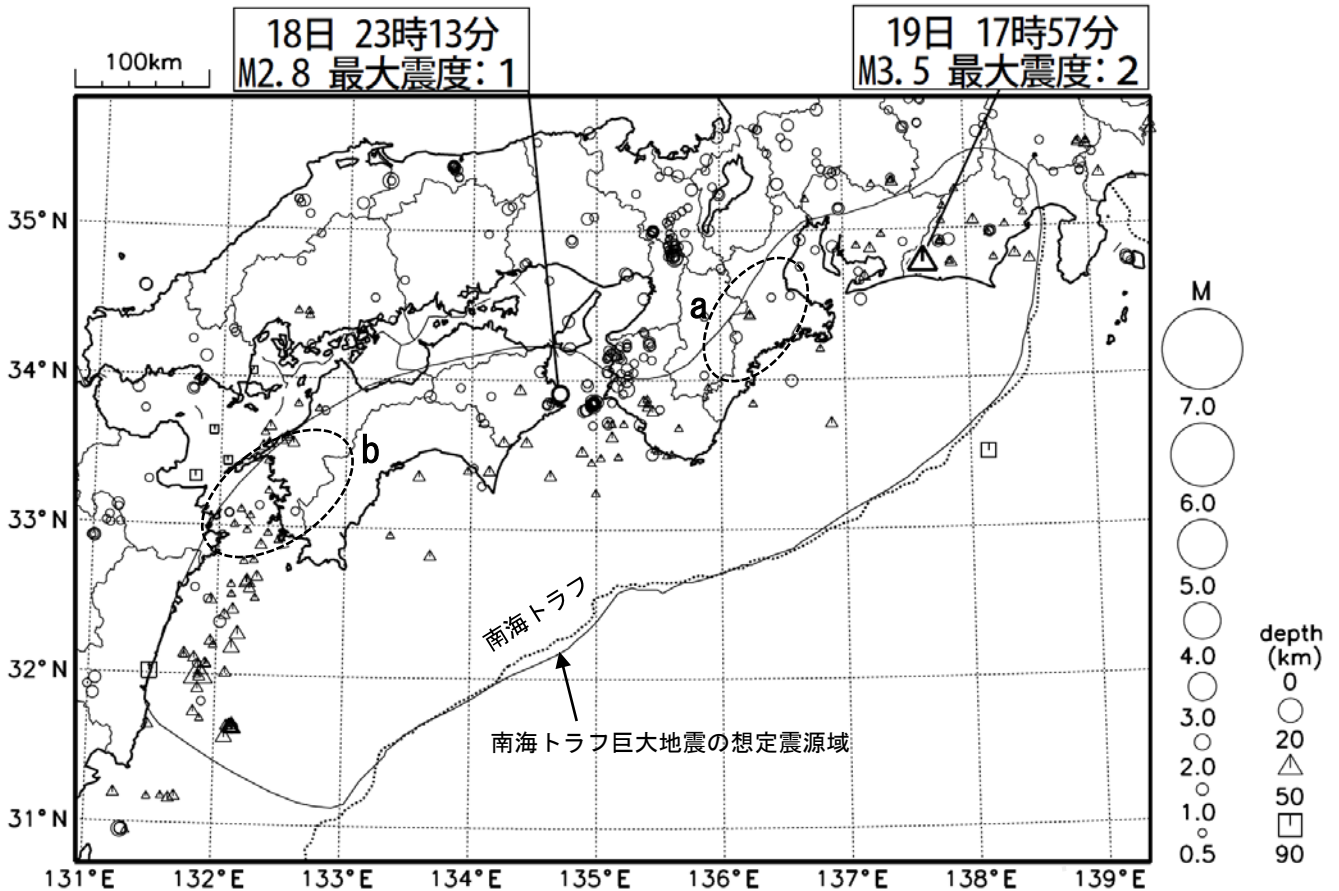


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 8

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成31年2月15日～2月21日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（ $M \geq 0.5$ 、震源の深さ0~90km）。

[概況]

10日頃から18日頃にかけて紀伊半島北部のプレート境界深部で短期的ゆっくりすべりが発生したと推定される。

[主な地震活動]

・19日17時57分に、静岡県西部の深さ29kmでM3.5の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{*1}と地殻変動]

〔領域a〕10日から18日にかけて、紀伊半島北部で深部低周波地震（微動）を観測した。深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、10日頃から18日頃にかけて周辺に設置されているひずみ計^{*2}に変化が現れた。これらは、プレート境界深部において発生している短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

〔領域b〕13日から20日にかけて、四国西部で深部低周波地震（微動）を観測している。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が低い深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

※2：産業技術総合研究所のひずみ計。